

Case 26-2008:**A 26-year-old Woman with Headache and Behavioral Changes****(N Engl J Med 2008; 359: 842-53)****【プロブレムリスト】**

発症まで：

片頭痛
違法薬物使用歴
父：多発性硬化症

7 週間前：

頭痛、項部硬直、聴覚過敏、間欠性の霧視、嘔気、嘔吐

その後の 10 日間：

傾眠、不快感、短期記憶障害、錯乱、興奮、離人感

5 週間半前（精神科入院）：

視覚障害（s/o 幻覚）、錯乱
感覚性失語
上肢の過伸展、口唇運動異常

34 日前（1 回目の転院）：

発熱、血清 CK 上昇（s/o 悪性症候群）

32 日前（2 回目の転院）：

意識障害、興奮
対光反射低下、外眼運動麻痺、腱反射低下、左足の痙攣
肺炎もしくは無気肺
強直間代発作

入院時：

意識障害、興奮
不整な呼吸
顔面の発汗、縮瞳、失語、頭頸部、口唇の不随意運動
上肢の麻痺、下肢の不随意運動

- ◇ 7 週間前に頭痛で発症。
- ◇ その後 10 日程度かけて行動・人格・記憶力の変化が出現。
- ◇ その後、意識障害、運動の異常（顔面・下肢の不随意運動、上肢・外眼運動の麻痺）、自律神経障害（発汗、縮瞳、不整な呼吸、頻脈）が出現し、遷延している。